

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
 全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
 高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

分科会Ⅲ
 臓器がん登録の現状と成果
 そしてその今後の在り方に関する研究

腎がん登録の今後の在り方
 昨年度からの進展と課題

| | |
|------------|--------------------------|
| 分担研究者： | ご所属：和歌山県立医科大学 お名前：原 勲 |
| 腎がん登録運営母体： | 日本泌尿器科学会 |

A. 臓器がん登録のシステムについて

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

| 領域 | 現状カバー率 | 要改善 | 目標 | 検討中の対策 |
|-------|---------------------------|-----|--------|------------------|
| 肺がん | 手術例の30% | 要改善 | 50% | NCDデータの利用 |
| 大腸がん | 6~7% | 要改善 | 未定 | 具体案まだ |
| 腎がん | 20% | 要改善 | 80% | NCDで専門医制度と関連させる |
| 前立腺がん | 20% | 要改善 | 80% | NCDで専門医制度と関連させる |
| 婦人科がん | 60~70% | 要改善 | 80-90% | 専門医基幹施設等への周知 |
| 小児がん | 80% | 要改善 | | 複数の登録事業が並列→集約？ |
| 皮膚がん | 20%（メラノーマ） 40%（皮膚リンパ腫） | 要改善 | ≥50% | 皮膚がん診療・登録拠点の拡大 |
| 甲状腺がん | 不明 | 要改善 | | 耳鼻科・頭頸部外科からの登録整備 |
| 制吐薬GL | NA | | | |

A. 臓器がん登録のシステムについて

カバー率を向上させる対策
 昨年度からの進展と課題・問題点について

対策の進展についてご記載下さい（自由記載）
 日本泌尿器科学会では専門医制度と連動し2018年4月からNCDを利用した症例登録を開始予定です。

課題・問題点についてご記載下さい（自由記載）
 2018年4月から開始される症例登録は主に手術症例を対象としたものであり、今までの癌登録のような詳細な情報は入力されません。基本的な手術症例のNCD登録が軌道に乗った段階で癌登録を開始する予定となっております。本格的な癌登録にはまだ時間を要すると思われます。

B. NCDとの連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

| 領域 | 連携の予定 | 目的 | | | | 連携項目 |
|-------|-----------|-------|-------------------|-----------|------------|-----------|
| | | 専門医制度 | 悉皆性 カバー率 向上 | 手間の 軽減 | DB管理 体制 | |
| 肺がん | 連携予定・時期未定 | | ○ | ○ | | 一部項目 |
| 大腸がん | 連携予定・時期未定 | | △ | | | 一部項目 |
| 腎がん | 連携予定・時期未定 | ○ | ○ | | ○ | 未定 |
| 前立腺がん | 連携予定・時期未定 | ○ | ○ | | ○ | 未定 |
| 婦人科がん | × | | | | | |
| 小児がん | 連携予定・時期未定 | ○ | ○ | ○ | | 一部項目 |
| 皮膚がん | × | | | | | |
| 甲状腺がん | 2016年から実装 | | ○ | ○ | | すべて（予後含む） |
| 制吐薬GL | NA | | | | | |

B. NCDとの連携について：甲状腺がん

| 甲状腺がん （岡本先生） | 回答 |
|--|--------------------|
| NCD実装後の変化 | 改善された点についてご記載下さい |
| 専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制 など | 今後の課題と対策についてご記載下さい |

B. NCDとの連携について：甲状腺がん以外

| 甲状腺がん以外 | 回答 |
|--|---|
| NCDとの連携の予定 | <input type="checkbox"/> ① すでに実装：20XX_年から <input checked="" type="checkbox"/> ② 今後、連携の予定：20XX_年から実装予定 or 未定 <input type="checkbox"/> ③ NCDとの連携は考えていない |
| ①の場合 NCD実装後の変化 | NCDに実装して改善された点についてご記載下さい |
| 専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制 など | NCD実装後の今後の課題についてご記載下さい |
| ②の場合 | NCDに実装するための課題についてご記載下さい 癌登録として実装化されるにはまだ時間がかかると思われます。 |
| ③の場合 | NCDとの連携を考えない理由についてご記載下さい |

C. Registryの対象となるがん種について
 重複が想定される学会との連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

扱う疾患が重複している学会等

日本小児血液・がん学会 ⇔ JCCG（日本小児がん研究グループ）
 固形腫瘍観察研究事業および小児血液腫瘍性疾患の前方視的研究、
 日本血液学会 疾患登録事業、
 日本小児外科学会 悪性腫瘍登録事業

日本皮膚悪性腫瘍学会 ⇔ 日本皮膚科学会
 日本形成外科学会

日本甲状腺外科学会 ⇔ 耳鼻科、頭頸部外科の学会

C. Registryの対象となるがん種について
 重複が想定される学会との連携について

| 設問 | 回答 |
|-------------------------|---|
| 重複が想定される学会があるか | <input type="checkbox"/> ① あり <input checked="" type="checkbox"/> ② なし |
| ①ありの場合 | 重複が想定される学会名を列挙して下さい |
| ①ありの場合、重複が想定される学会との連携は？ | <input type="checkbox"/> ③ 連携あり <input type="checkbox"/> ④ 連携なし |
| ③連携ありの場合 | 連携の現状と今後の課題について記載して下さい |
| ④連携なしの場合 | <input type="checkbox"/> ⑤ 連携の予定あり <input type="checkbox"/> ⑥ 連携の予定なし |
| ⑤連携の予定ありの場合 | 連携のための課題について記載して下さい |
| ⑥連携の予定なし | 連携に関するお考えを記載して下さい |

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

| 領域 | 利用ルール | 利用した研究 | GL等への反映 |
|-------|-------|--------|---------|
| 肺がん | 体制あり | あり | あり |
| 大腸がん | 体制あり | あり | あり |
| 腎がん | 体制あり | あり | 未 |
| 前立腺がん | 体制あり | あり | 未 |
| 婦人科がん | 未 | あり | 未 |
| 小児がん | 未 | 未 | 未 |
| 皮膚がん | 未 | あり | あり |
| 甲状腺がん | 未 | 未 | 未 |
| 制吐薬GL | 未 | 未 | 未 |

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

| 設問 | 回答 |
|---------------|--|
| 成果のガイドラインへの反映 | <input type="checkbox"/> ①すでに行われている <input checked="" type="checkbox"/> ②これから |
| ①すでに行われている場合 | <input type="checkbox"/> ③現状でOK <input type="checkbox"/> ④利活用のために改善が必要 ↓ ④の場合、具体的な方策について () |
| ②これからの場合 | 反映させるための方策について記載して下さい 学会内のガイドライン委員会と癌登録委員会がお互いに問題を認識し連携することが重要と思います。 |

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

1) 期待すること

- ・ 生存/死亡データの確かさ
- ・ 重複する項目のデータを臓器がん登録に流用できれば ...

2) 懸念点・ハードル

- ・ 直接リンクは（NCDも臓器がん登録も）不可
- ・ 自施設の予後データはすんなり入手できるのか？
- ・ どのような形での連携なら可能か？

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

| 設問 | 回答 |
|--------------------|--|
| 連携するメリットはあると思いますか？ | お考えを記載して下さい（自由記載） 絶対にあると思います。 |
| 連携するための課題と対応策について | お考えを記載して下さい（自由記載） やはり法律上の問題でしょうか？ |
| 全国がん登録に期待すること | お考えを記載して下さい（自由記載） 是非医学研究にも役立つ方向性で考えていただきたいです。 |

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
 全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び
 高質診療データベースのNCD長期予後入力システムの構築に関する研究

分科会Ⅲ
 臓器がん登録の現状と成果
 そしてその今後の在り方に関する研究

婦人科がん登録の今後の在り方 昨年度からの進展と課題

| | |
|--------------|----------------------------|
| 分担研究者： | 東海大学医学部産婦人科 三上幹男 |
| 婦人科がん登録運営母体： | 学会名 日本婦人科腫瘍学会 日本産科婦人科学会 |

A. 臓器がん登録のシステムについて

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

| 領域 | 現状カバー率 | 要改善 | 目標 | 検討中の対策 |
|-------|-----------------------------|-----|--------|------------------|
| 肺がん | 手術例の30% | 要改善 | 50% | NCDデータの利用 |
| 大腸がん | 6~7% | 要改善 | 未定 | 具体案まだ |
| 腎がん | 20% | 要改善 | 80% | NCDで専門医制度と関連させる |
| 前立腺がん | 20% | 要改善 | 80% | NCDで専門医制度と関連させる |
| 婦人科がん | 60~70% | 要改善 | 80-90% | 専門医基幹施設等への周知 |
| 小児がん | 80% | 要改善 | | 複数の登録事業が並列→集約? |
| 皮膚がん | 20% (メラノーマ) 40% (皮膚リンパ腫) | 要改善 | ≥50% | 皮膚がん診療・登録拠点の拡大 |
| 甲状腺がん | 不明 | 要改善 | | 耳鼻科・頭頸部外科からの登録整備 |
| 制吐薬GL | NA | | | |

A. 臓器がん登録のシステムについて

カバー率を向上させる対策
 昨年度からの進展と課題・問題点について

対策の進展についてご記載下さい（自由記載）
 産婦人科専門医修練施設に対して登録を義務化している
 婦人科腫瘍専門医修練施設に対して登録を義務化している

課題・問題点についてご記載下さい（自由記載）
 産婦人科専門医修練施設がすべて婦人科腫瘍専門医修練施設でないために登録を義務化していても罰則規定がないために積極的に義務化できていない。
 上記外の修練施設において治療される例に関しては登録はされないことが多い。

B. NCDとの連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

| 領域 | 連携の予定 | 目的 | | | 連携項目 |
|-------|-----------|-------|-------------------|-----------|-----------|
| | | 専門医制度 | 悉皆性 カバー率 向上 | 手間の 軽減 | |
| 肺がん | 連携予定・時期未定 | | ○ | ○ | 一部項目 |
| 大腸がん | 連携予定・時期未定 | | △ | | 一部項目 |
| 腎がん | 連携予定・時期未定 | ○ | ○ | ○ | 未定 |
| 前立腺がん | 連携予定・時期未定 | ○ | ○ | ○ | 未定 |
| 婦人科がん | × | | | | |
| 小児がん | 連携予定・時期未定 | ○ | ○ | ○ | 一部項目 |
| 皮膚がん | × | | | | |
| 甲状腺がん | 2016年から実装 | | ○ | ○ | すべて（予後含む） |
| 制吐薬GL | NA | | | | |

B. NCDとの連携について：甲状腺がん

| 甲状腺がん (岡本先生) | 回答 |
|--|--------------------|
| NCD実装後の変化 | 改善された点についてご記載下さい |
| 専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制 など | 今後の課題と対策についてご記載下さい |

B. NCDとの連携について：甲状腺がん以外

| 甲状腺がん以外 | 回答 |
|--|---|
| NCDとの連携の予定 | <input type="checkbox"/> ① すでに実装：20XX 年から <input type="checkbox"/> ② 今後、連携の予定：20XX 年から実装予定 or 未定 <input checked="" type="checkbox"/> ③ NCDとの連携は考えていない |
| ①の場合 NCD実装後の変化 | NCDに実装して改善された点についてご記載下さい |
| 専門医制度とのリンク カバー率の向上 手間の軽減 データベース管理体制 など | NCD実装後の今後の課題についてご記載下さい |
| ②の場合 | NCDに実装するための課題についてご記載下さい |
| ③の場合 | NCDとの連携を考えた理由についてご記載下さい <small>産婦人科学会には母産科、生殖医療、腫瘍の3つのデータベースがあり、3つのデータベースはお互いに連携している。よって現在はその関係について検討を行っている。</small> |

C. Registryの対象となるがん種について 重複が想定される学会との連携について

昨年度の調査は以下の通りです。
 次のスライドの質問にお答えください。

扱う疾患が重複している学会等

日本小児血液・がん学会 ⇔ JCCG（日本小児がん研究グループ）
 固形腫瘍観察研究事業および小児血液腫瘍性疾患の前方視的研究、
 日本血液学会 疾患登録事業、
 日本小児外科学会 悪性腫瘍登録事業

日本皮膚悪性腫瘍学会 ⇔ 日本皮膚科学会
 日本形成外科学会

日本甲状腺外科学会 ⇔ 耳鼻科、頭頸部外科の学会

C. Registryの対象となるがん種について 重複が想定される学会との連携について

| 設問 | 回答 |
|-------------------------|---|
| 重複が想定される学会があるか | <input type="checkbox"/> ① あり <input checked="" type="checkbox"/> ② なし |
| ①ありの場合 | 重複が想定される学会名を列挙して下さい |
| ①ありの場合、重複が想定される学会との連携は？ | <input type="checkbox"/> ③ 連携あり <input type="checkbox"/> ④ 連携なし |
| ③ 連携ありの場合 | 連携の現状と今後の課題について記載して下さい |
| ④ 連携なしの場合 | <input type="checkbox"/> ⑤ 連携の予定あり <input type="checkbox"/> ⑥ 連携の予定なし |
| ⑤ 連携の予定ありの場合 | 連携のための課題について記載して下さい |
| ⑥ 連携の予定なし | 連携に関するお考えを記載して下さい |

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

| 領域 | 利用ルール | 利用した研究 | GL等への反映 |
|-------|-------|--------|---------|
| 肺がん | 体制あり | あり | あり |
| 大腸がん | 体制あり | あり | あり |
| 腎がん | 体制あり | あり | 未 |
| 前立腺がん | 体制あり | あり | 未 |
| 婦人科がん | 未 | あり | 未 |
| 小児がん | 未 | 未 | 未 |
| 皮膚がん | 未 | あり | あり |
| 甲状腺がん | 未 | 未 | 未 |
| 制吐薬GL | 未 | 未 | 未 |

D. 臓器がん登録データの利活用推進について

| 設問 | 回答 |
|---------------|--|
| 成果のガイドラインへの反映 | <input checked="" type="checkbox"/> ①すでに行われている <input type="checkbox"/> ②これから |
| ①すでに行われている場合 | <input checked="" type="checkbox"/> ③現状でOK <input checked="" type="checkbox"/> ④利活用のために改善が必要 ↓ ④の場合、具体的な方策について (_____) |
| ②これからの場合 | 反映させるための方策について記載して下さい |

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

昨年度の調査は以下の通りです。
次のスライドの質問にお答えください。

1) 期待すること

- 生存/死亡データの確かさ
- 重複する項目のデータを臓器がん登録に流用できれば ...

2) 懸念点・ハードル

- 直接リンクは(NCDも臓器がん登録も) 不可
- 自施設の予後データはすんなり入手できるのか?
- どのような形での連携なら可能か?

E. 全国がん登録と臓器がん登録の連携 について 展望と課題～臓器がん登録の立場から

| 設問 | 回答 |
|--------------------|--|
| 連携するメリットはあると思いますか? | お考えを記載して下さい(自由記載) 予後情報などが正確に知ることができるのであれば 大きなメリットになる |
| 連携するための課題と対応策について | お考えを記載して下さい(自由記載) 同じ登録項目に関しては同時に入力できるようにすることで仕事量の軽減を図ること 登録入力を専門に行うプロの養成を行い、臨床医の仕事量の軽減を図ってほしい。 |
| 全国がん登録に期待すること | お考えを記載して下さい(自由記載) 米国のSEERのように匿名加工情報として誰でも使うことのできるような情報にすること(お金を取ってでも)。そのほうがいろいろな臨床研究も進む。 |